

活動地：千葉県印旛郡酒々井町

面積：19,339㎡

活動開始時期：2001年3月



団体の活動内容について

選定地の周りは、市街地中心部から至近距離に位置し、住宅後背地につながる斜面林とこれに挟まれた谷津田からなる一帯の里山です。周辺は多くの縄文時代の遺跡があり、また本佐倉城跡の森の丘が望め、更に遠方には印旛沼流域の田園地帯が広がります。

選定地は、山林の斜面から枯れることなく湧水が流れ出ることから、「西井戸」の地名を持ちます。湧水は湿田を潤し、用水を経て印旛沼へ流入しています。また、ニホンアカガエルの生息が見られ、このあたりの食物連鎖の頂点である、サシバやオオタカなどの猛禽類も見ることができる自然豊かな環境です。

酒々井里山フォーラムは、「千葉県里山条例」に基づく認定団体となり、以下の活動を行っています。

1. 森林整備を中心とした環境景観の保全、自然観察、環境調査と研究
2. 耕作放棄地の再生に伴う古代米栽培及び循環型農業の構築
3. 里山を活用したモノづくり推進、シンポジウム等の開催
4. 市民及び子どもに対する環境学習の普及・啓発
5. まちづくりに関する問題提起と提言
6. 各地関連団体との協働、ネットワークづくり



生きもののために、池の深さを変えようとしています



選定地内で見られた(ニホン)アマガエル